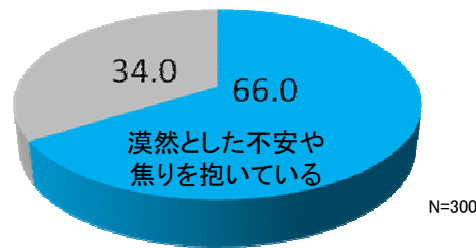


大学3年生300人に聞く ソーシャルリクルーティング調査

POINT1

大学3年生の就活への意識と活動実態

今年の就活生の約7割(66.0%)が、就職活動の開始が昨年より2カ月遅れてスタートしたことに、漠然とした不安や焦りを抱いている。



POINT2

大学3年生の就活でのSNS利用実態

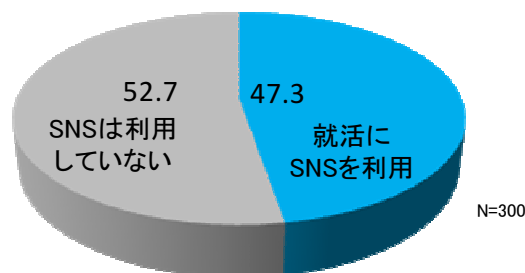
約半数(47.3%)の就活生が、就職活動でSNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)を利用。

就職活動でSNSを利用している目的

- 1位:少しでも企業の情報が欲しいから(54.2%)
- 2位:企業の雰囲気や風土を具体的に知ることができるから(44.4%)
- 3位:使える手段はすべて使いたいから(30.3%)

就活にSNSを利用してよかったこと

- 1位:幅広い情報の取得: 「幅広い情報を自宅にいながらにして得ることができる」
- 2位:情報のいち早い入手: 「説明会に早期予約できた」
- 3位:深い情報の取得: 「就職支援サイトなどに載っていない情報が手に入った」



お問い合わせ
はこちらまで

株式会社 電通パブリックリレーションズ
東京都中央区築地5-6-4 浜離宮三井ビルディング 7階

イシューマネジメント部 / 阪井・伊澤・末次

☎ 03-5565-8447

✉ kanji@dentsu-pr.co.jp

調査概要

■調査名: 大学3年生における『ソーシャルリクルーティング』に関する調査

■調査対象者: 就職活動をしている大学3年生
 関東:1都3県に居住する人、関西:2府2県に居住する人

■サンプル数 男性:150サンプル 女性:150サンプル

都道府県

		n	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県
全体		300 100.0	40 13.3	26 8.7	84 28.0	49 16.3	24 8.0	42 14.0	28 9.3	7 2.3
性別	男性	150 100.0	18 12.0	14 9.3	43 28.7	27 18.0	12 8.0	19 12.7	13 8.7	4 2.7
	女性	150 100.0	22 14.7	12 8.0	41 27.3	22 14.7	12 8.0	23 15.3	15 10.0	3 2.0

■調査期間: 2012年1月7日(土)～11日(水)

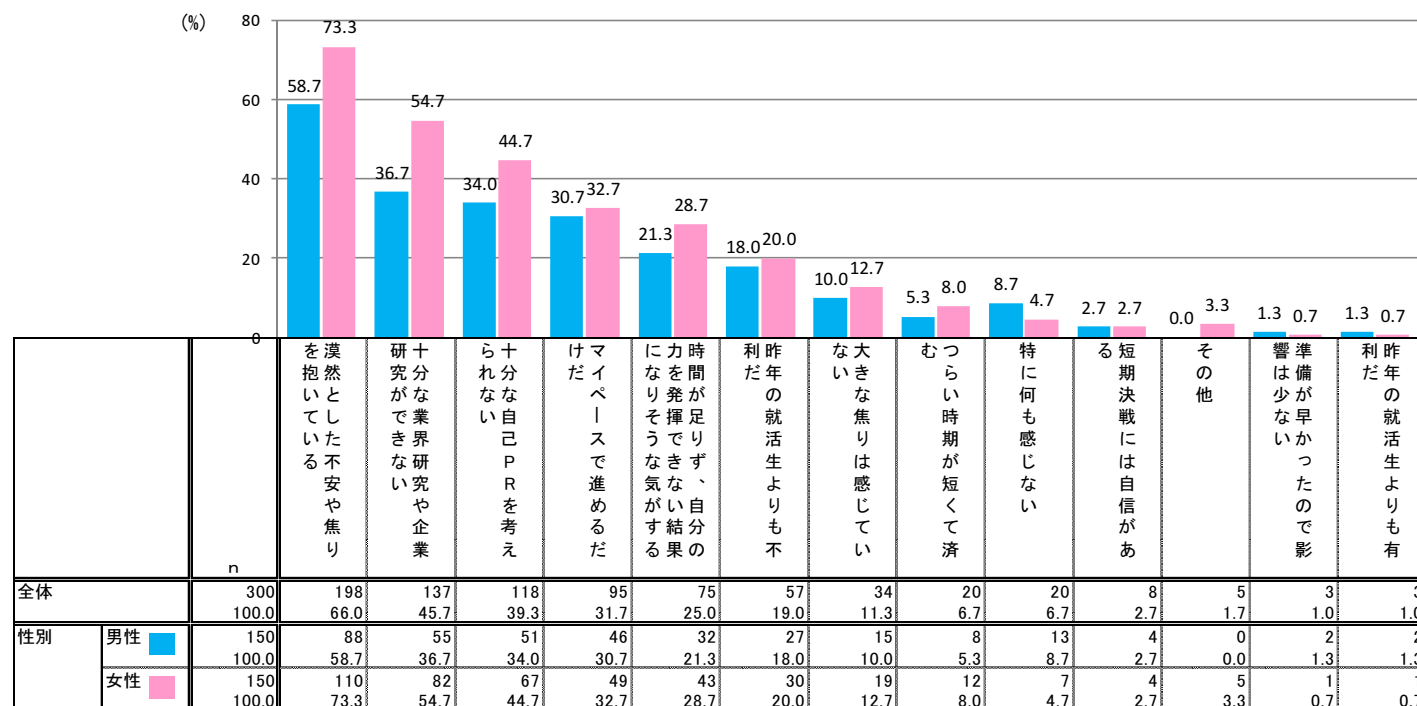
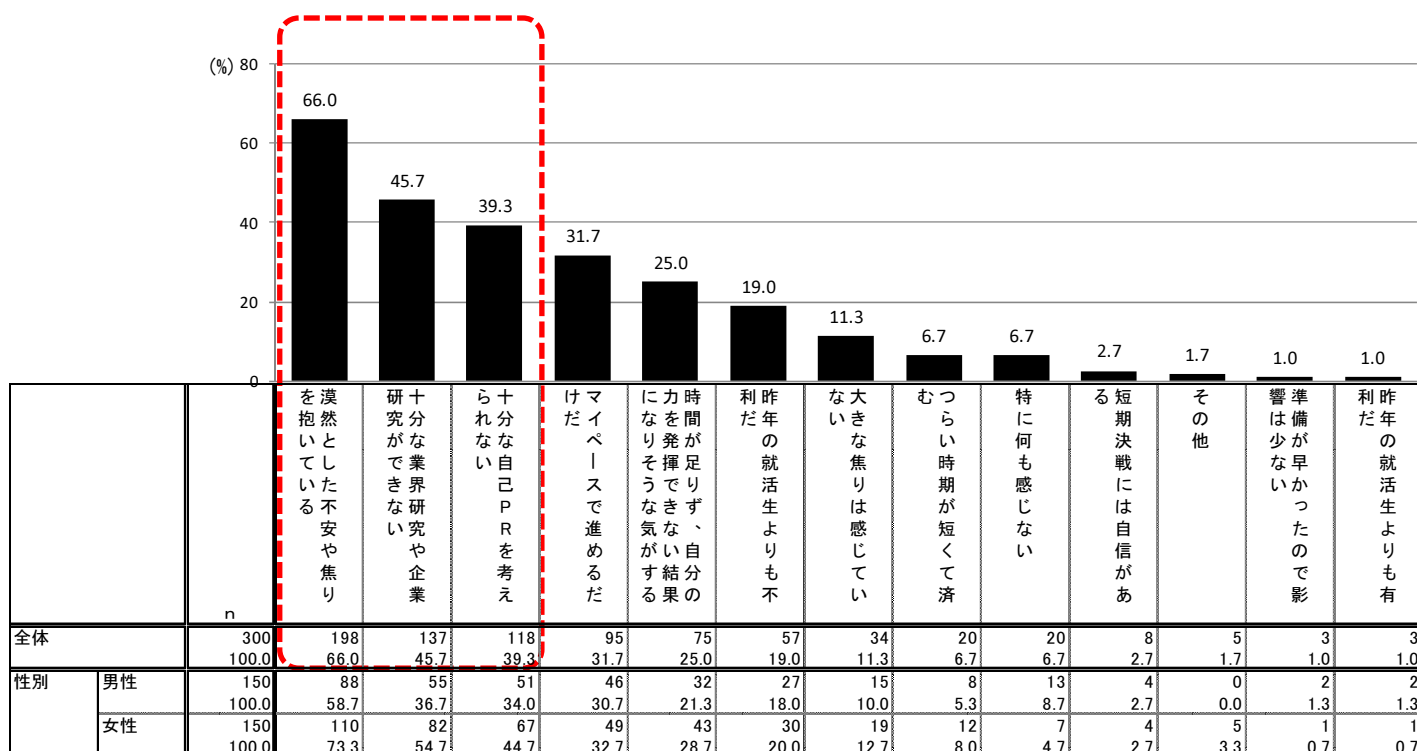
■調査方法: インターネット調査

～約7割が焦りと不安を抱えている～

昨年よりも2カ月遅れでスタートした採用活動だが、約7割の学生(66.0%)が、そのことに対して「**漠然とした不安や焦りを抱いている**」。

また、「十分な業界研究や企業研究ができない」(45.7%)、「十分な自己PRを考えられない」(39.3%)と、時間が足りないことに対して、**マイナス意識を抱いている学生が多い**。特に女子学生にその傾向は強く見られる。

Q. 今年は、企業の採用活動のスタートが12月1日からとなり、昨年よりも2カ月遅れでスタートしました。あなたは、そのことに関してどのようにお思いですか。あなたの心情に近いものをお選びください。(MA)



～SNSは“現在行っている就職活動”の第三勢力として浮上～

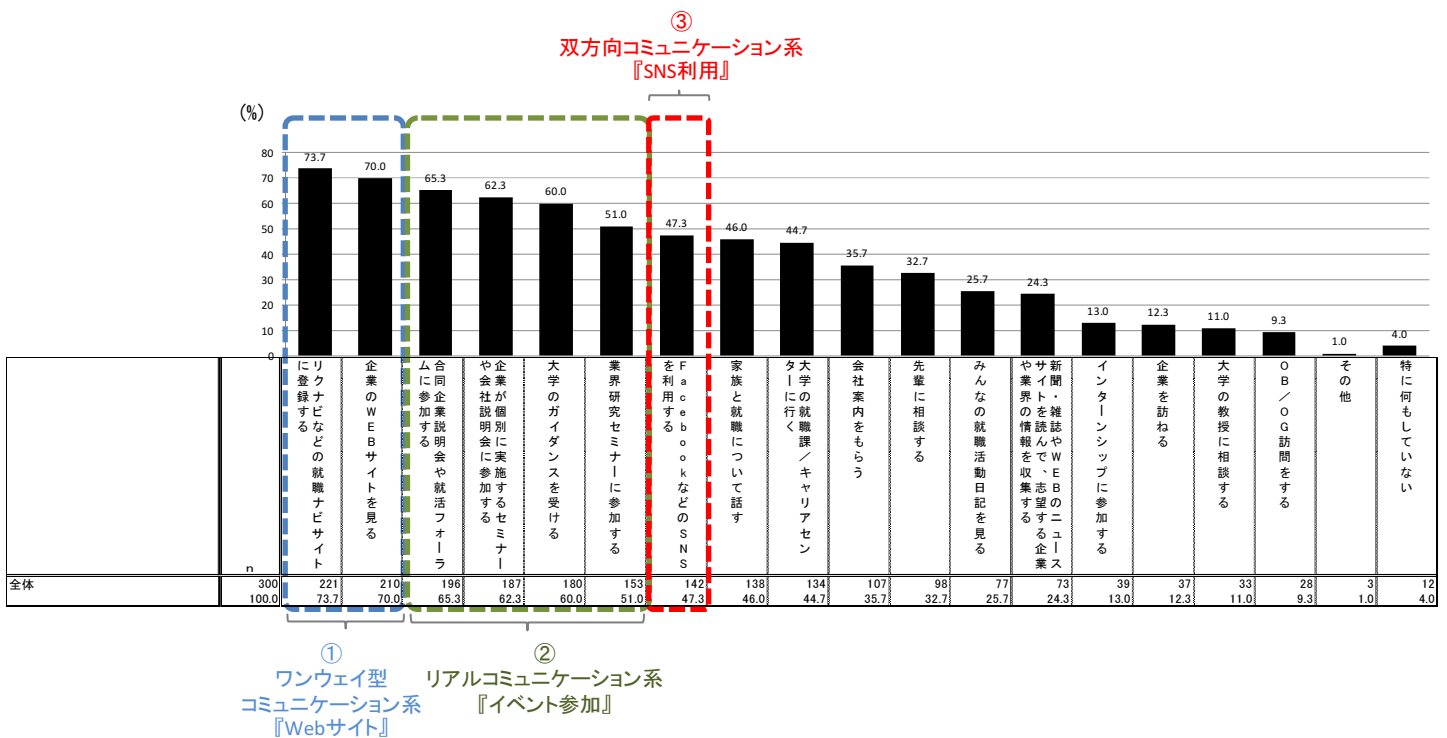
就職活動開始から1カ月経った現在、実際に取り組んでいる就職活動について聞いたところ、最も多く挙げられたのが、「リクナビなどの就職ナビサイトに登録する」(73.7%)、「企業のWebサイトを見る」(70.0%)といった、企業からの“ワンウェイ型コミュニケーション”で情報発信されている、『Webサイト』を利用・閲覧する活動。

次いで挙げられたのが、「合同企業説明会や就活フォーラムに参加する」(65.3%)、「企業が個別に実施するセミナーや会社説明会に参加する」(62.3%)などの、“リアルにコミュニケーション”がとれる『イベント参加』。

企業や参加者との“双方向型のコミュニケーション”がとれる「**Facebook[®]などのSNSを利用する**」は、**47.3%で第三勢力**。就活の新しいツールとして学生たちに利用され始めていることがうかがえる。

昔から学生の就職活動を支えてきた「大学の就職課・キャリアセンターに行く」(44.7%)を上回ったのは、**ソー活時代を象徴した結果**となっている。

Q. 昨年よりも2カ月遅れでスタートした企業の採用活動ですが、あなたは現在、ご自身の就職活動において、どのようなことをやっていますか。次の中から行っているものすべてをお答えください。

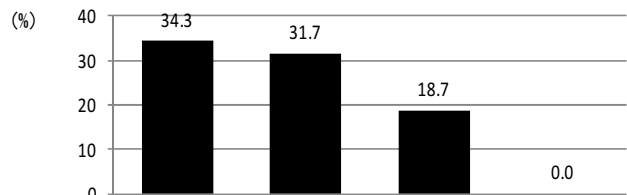
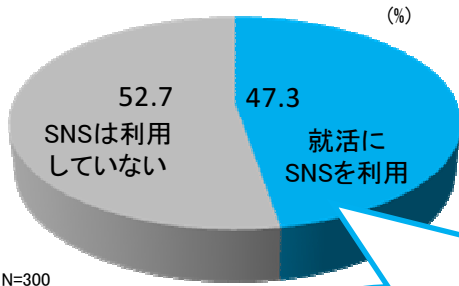


～約半数の学生が就活にSNSを利用～

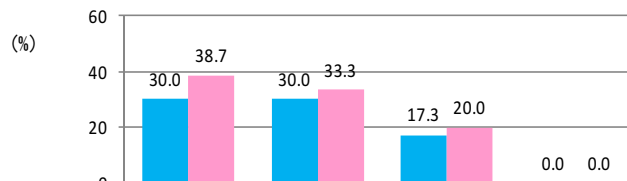
実際にどのくらいの学生がSNSを就活に利用しているか聞いたところ、**就活中の学生の約半数(47.3%)が、なにかしらのSNSを就活に利用**していた。

また、利用しているSNSの種類は、「twitter」(34.3%)、「Facebook」(31.7%)が拮抗している。

- Q. あなたは、就職活動をする上で、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用していますか。利用しているSNSをすべてお答えください。(MA)
 ※アカウントは持っていますが、そのSNSを就職活動で利用していない場合には選択しないでください。



		n	Twitter	Facebook	mixi	Linked in
全体		300	103	95	56	0
		100.0	34.3	31.7	18.7	0.0
性別	男性	150	45	45	26	0
		100.0	30.0	30.0	17.3	0.0
	女性	150	58	50	30	0
		100.0	38.7	33.3	20.0	0.0



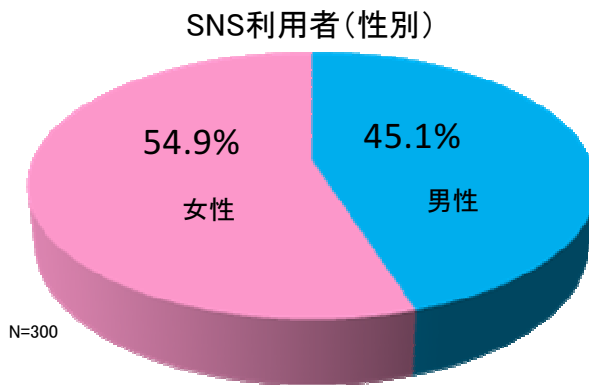
		n	Twitter	Facebook	mixi	Linked in
全体		300	103	95	56	0
		100.0	34.3	31.7	18.7	0.0
性別	男性	150	45	45	26	0
		100.0	30.0	30.0	17.3	0.0
	女性	150	58	50	30	0
		100.0	38.7	33.3	20.0	0.0

～読むだけ派と読み書き派が約半々～

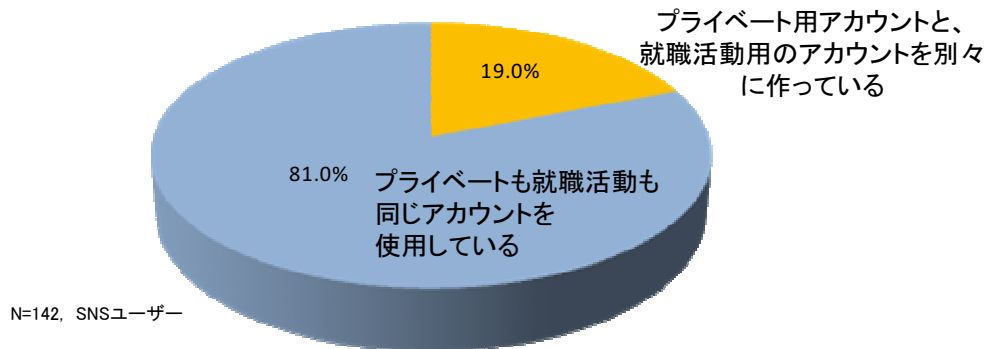
利用実態を分析すると、SNSを利用している就活生の男女比は、女性が54.9%、男性が45.1%と、若干だが女性が上回っており、SNSの利用にあたっては、**約2割(19.0%)の人が就活用のアカウントを別に作成**している。

また、SNSの利用方法は、**カキコミなどを読むだけ派が49%なのに対し、読み書き両方派は43%**であった。

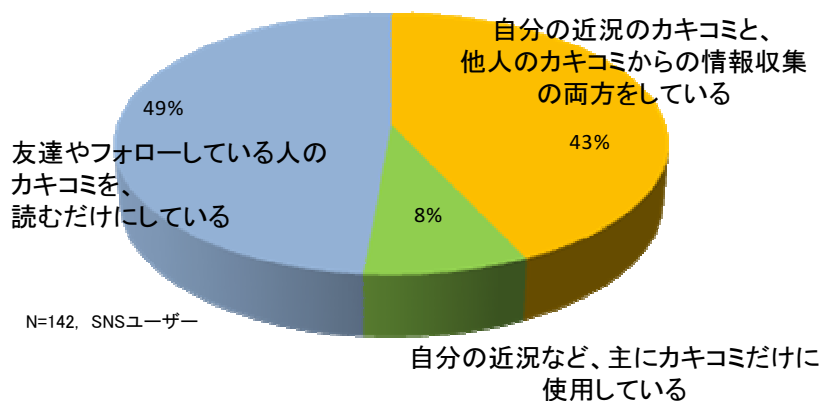
- Q. あなたは、就職活動をする上で、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用していますか。利用しているSNSをすべてお答えください。(MA)
 ※アカウントは持っていますが、そのSNSを就職活動で利用していない場合には選択しないでください。



- Q. あなたは就職活動を行うにあたり、プライベートとは別に、就職活動専用のSNSアカウントを作っていますか。



- Q. 就職活動を行う上で、あなたのSNSの利用状況を教えてください。



～利用理由は、“企業情報の深堀”“就活仲間との交流”“人事部とのコミュニケーション”～

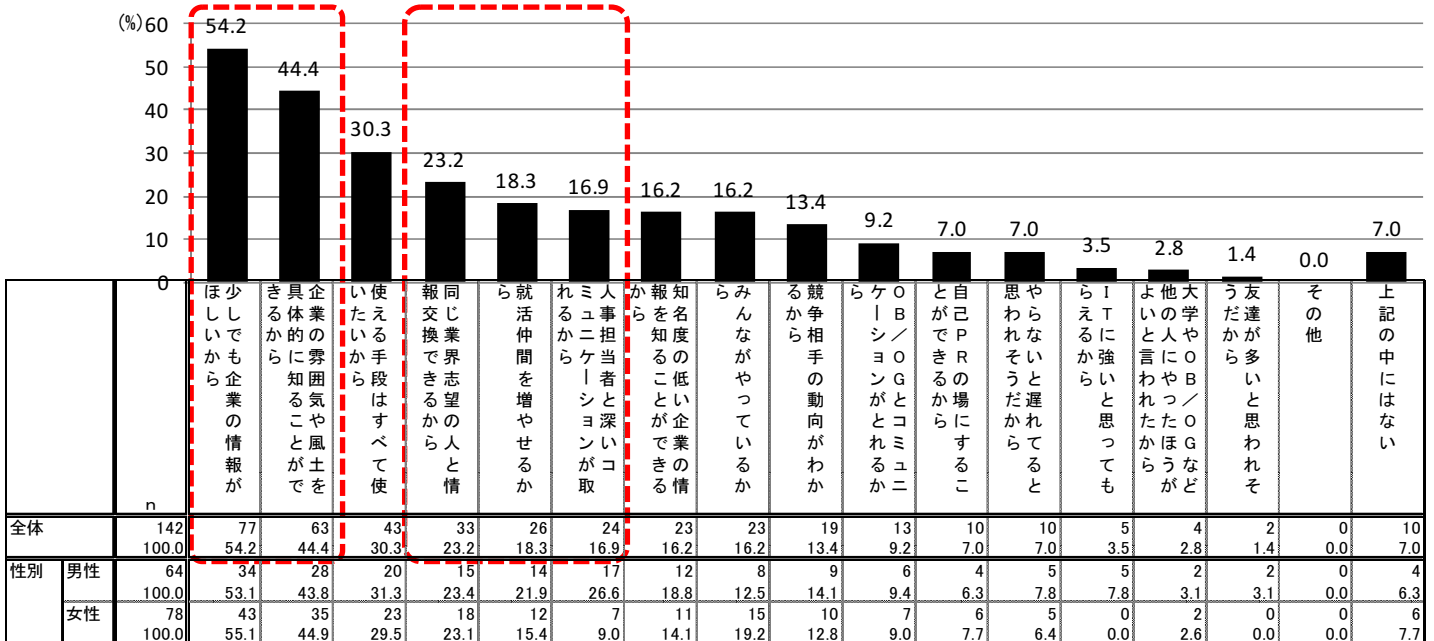
SNSの利用理由は、1位・2位は、「少しでも企業の情報がほしいから」(54.2%)、「企業の雰囲気や風土を具体的に知ることができるから」(44.4%)となっており、**学生が、より深く詳しい企業情報の入手を求めている**ことがわかる。次いで多かったのが、「使える手段はすべて使いたいから」(30.3%)。

また、**人脈を拡大させやすいSNSの特徴**をよく表しているのが、4位・5位の「同じ業界志望の人と情報交換できるから」(23.2%)、「就活仲間を増やせるから」(18.3%)や、6位の「人事担当者と深いコミュニケーションがとれるから」(16.9%)。

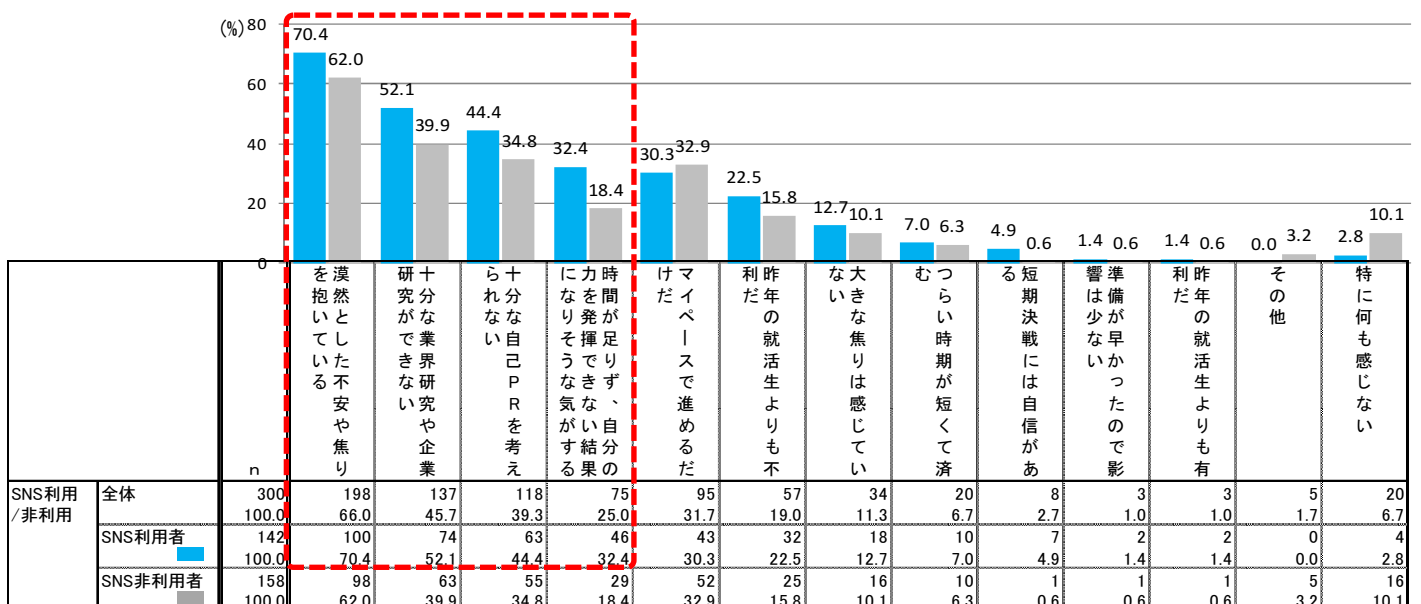
そのほか、「**知名度の低い企業を知ることができるから**」(16.2%)や「**競争相手の動向がわかるから**」(13.4%)もSNSの特徴がよく表れている。

SNS利用者の心理分析の一環として、SNS利用者と非利用者を比較してみると、SNS利用者の方が2カ月遅れでスタートした就職活動に対し、「**漠然とした不安や焦りを抱いている**」人が**8.4%多い**ことがわかった。ここから、不安や焦りを解消するために、少しでも多くの情報を入手しようとする就活生の姿が見てとれる。

Q. あなたが就職活動でSNSを利用している目的を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)



Q. 今年は、企業の採用活動のスタートが12月1日からとなり、昨年よりも2カ月遅れでスタートしました。あなたは、そのことに関してどのようにお思いですか。あなたの心情に近いものをお選びください。(MA)



～ SNSの利用シーン(SNSの利用実態)～

SNSを具体的にどのようなシーンで利用しているか、その利用実態をフリーアンサーで聞いたところ、「**就活仲間との交流・人脈の活用**」や、「**他の就活生の動向チェック**」など、SNSの特徴である**人とつながりを生かした活用方法が挙げられた**。

また、利用シーンとして**企業情報の取得**を挙げた学生が目立ったのに対し、SNSの発信力を利用し、自己アピールの場として活用している猛者もいた。

Q. 具体的に、どのようにSNSを就職活動に活用していますか。(FA)

カテゴリー	フリーアンサー	性別	年齢
就活仲間との交流 人脈の活用	インターン後にインターン生や社員とつながって情報交換している	男	22
	友人たちとの情報交換。企業を訪問した際の感想など	男	21
	就活であった人と繋がりを持ち、情報共有	女	21
	企業のページをフォローする。先輩方と連絡をとって相談にのってもらったり、知人を紹介してもらったりする	男	22
	高校の同窓会からOBOG訪問させてもらえる先輩方を探したりしている	女	21
他の就活生の 動向チェック	他の人の書き込みを読んで様子をうかがっている	女	21
	他の人の動向を見て行動する時期を参考にする	男	21
	友達の近況や友達からの情報を仕入れたりしている	女	21
	企業のページを見て、そのページを見ている人たちの就職活動について知る	女	21
情報の いち早い入手	企業から発信される情報はSNSが一番早いので、それを見てセミナーの予約等をしている	女	20
	企業情報入手・誰よりも早く企業情報をタイムリーに入手	男	21
	情報を素早く手に入れられるようにしている	女	21
幅広い情報の取得	ツイッターでは、検索欄に企業名を入れて様々なツイートを見ている	女	21
	就職活動に関するツイッターをフォローし、就職活動をする上での注意などを見ている	女	20
	就職活動に関するツイッターをフォローし、就職活動をする上での注意などを見ます また、志望する企業の新卒採用のアカウントをフォローし、情報を得てます	女	20
	就職先の分野と似ている企業で働いている人の情報や企業の情報を見ている	男	21
	企業の採用情報を見たり、就活に役立つ情報を提供してくれる人をフォローしたりしている	女	20
深い情報の 取得	Facebookでは企業のスタッフの声なども見られるので、どんな雰囲気なのかを見たりしている	女	21
	社員の生活や雰囲気を見る	女	21
	facebook採用ページから社風を知る	女	21
自己アピール	企業の情報発信を見るのと、企業への自己アピール	女	21
	自分のPRになるように情報をしばって掲載する。また、希望の職種に該当する人とコミュニケーションをとり、情報を得る	男	22

～SNSを利用してよかったこと(SNSの利用実感)～

SNSを利用して実感したメリットをフリーアンサーで具体的に聞いたところ、“幅広い情報の取得”(22件)と“情報のいち早い入手”(20件)が、拮抗しつつも1位・2位となった。

自分にとって有益だと思う情報発信者をマークすることで、**気になる情報がリアルタイムに入手できる**という、SNSならではの特徴が、**効率的に有益な情報を入手したい就活生のニーズに合致**した結果となっている。

順位	カテゴリー	件数
1位	幅広い情報の取得	22件
2位	情報のいち早い入手	20件
3位	深い情報の取得	17件
4位	就活仲間との交流・コミュニケーションの広がり	9件
4位	他の就活生の動向チェック	9件
6位	企業への親近感	7件
7位	自己啓発	5件

Q.就職活動でSNSを利用してよかったことはなんですか。(FA)

カテゴリー順位		フリーアンサー	性別	年齢
1位	幅広い情報の取得	幅広い情報を自宅にいながらにして得ることができる	男	21
		情報が豊富	女	20
		就活に必要な知識が手に入った	女	20
2位	情報のいち早い入手	会社説明会の予約開始時間がいち早く分かった	女	21
		説明会に早期予約できた	女	21
		いち早く情報を得る事が出来る。また、情報源が本人であるから信憑性が高い	男	21
		リアルタイムに情報を知ることができる	女	21
3位	深い情報の取得	就職支援サイトなどに載っていない情報が手に入った	男	21
		企業のウェブサイトだけでは得られなかった情報が、SNSでは得られる	男	21
		企業がSNSだけで発信する情報を得られる	男	21
		会社の中がわかる	女	21
4位	就活仲間との交流 コミュニケーションの 広がり	就活生同士で情報交換ができる	女	21
		就活生の輪が広まった	女	20
4位	他の就活生の 動向チェック	周りの動きが見えて自分のペースとの違いに気づいた	男	21
		他の人の動きを参考にできる	女	21
6位	企業への親近感	採用担当の人も気軽に情報を発信しているのが、親しみやすい	女	20
		人事の人のフランクな意見を聞くことができた	女	21
		その企業の人が日記のようなものを書いているので、親しみをもてる	男	22
7位	自己啓発	視野が広がった	男	21
		自分自身がどういう人間かよくわかる	男	21

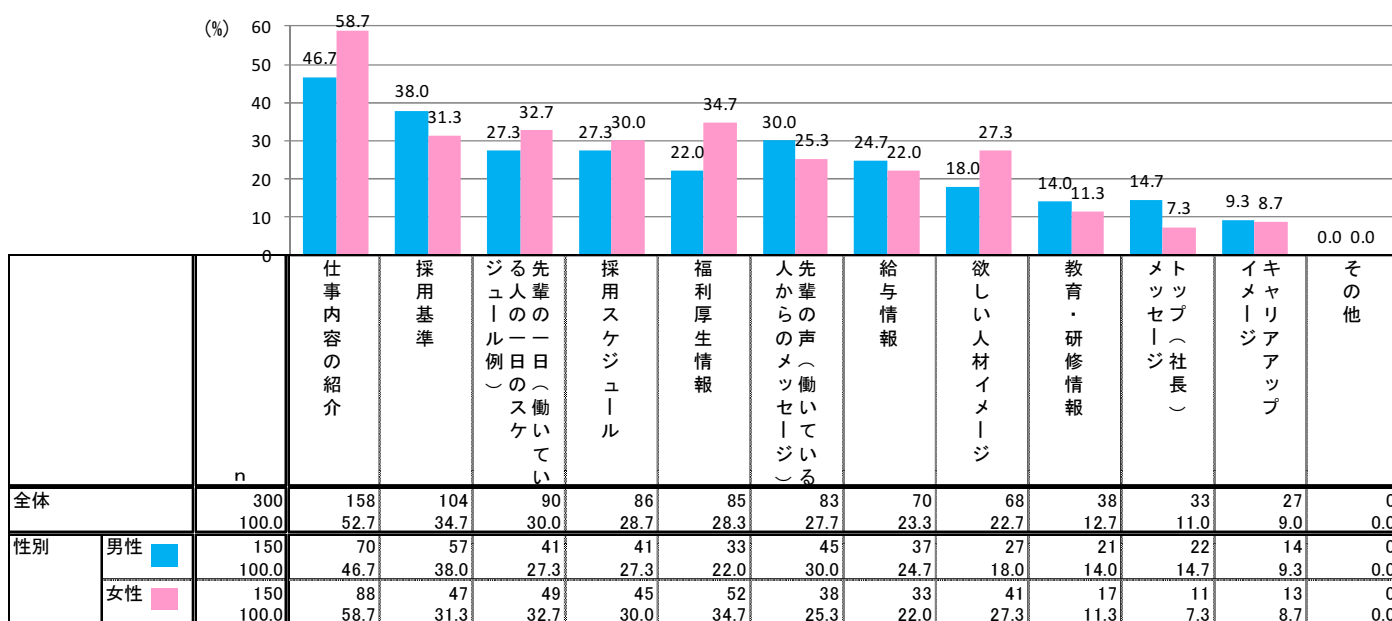
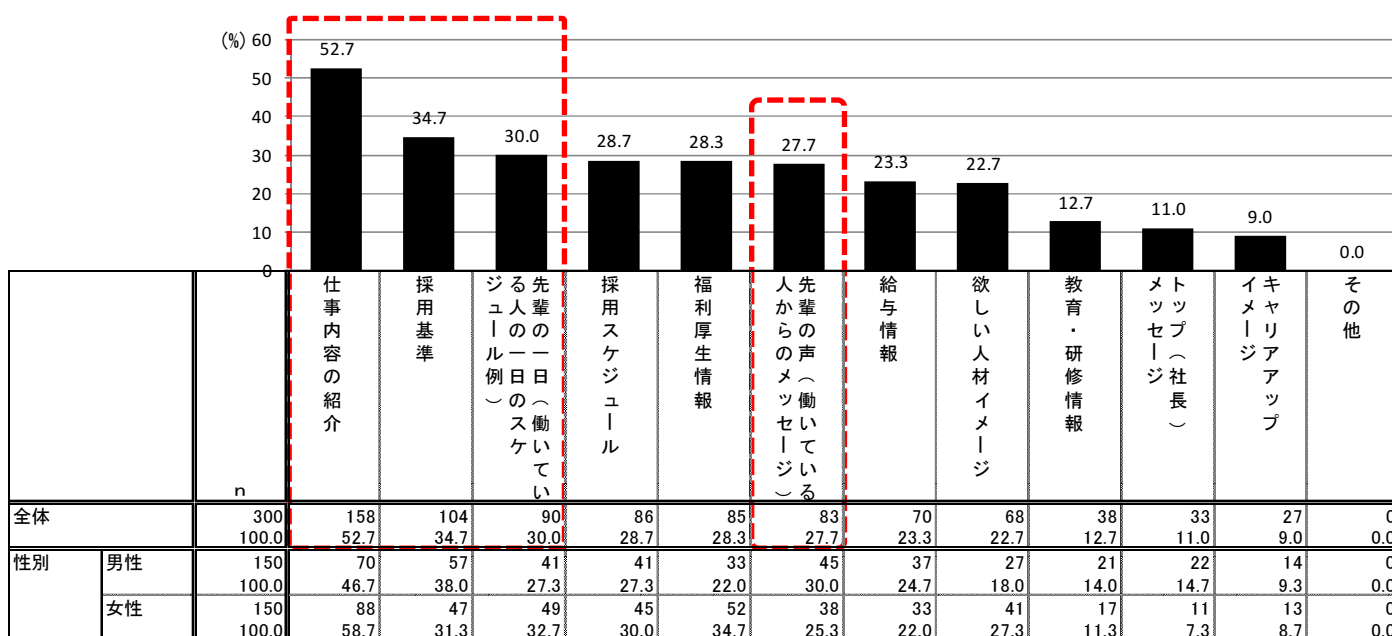
～企業に発信して欲しい情報 第1位「仕事内容の紹介」～

SNSを利用し、より広い・深い情報を欲するなど、**企業からの情報入手に貪欲**な現代の就活生は企業にどのようなコンテンツの発信を求めているのか。

企業に発信して欲しい情報を聞いたところ、1位「仕事内容の紹介」(52.7%)、2位「採用基準」(34.7%)、3位「先輩の一日(働いている人の一日のスケジュール例)」(30.0%)の順となった。

仕事内容、採用基準に次いで、「先輩の声」(27.7%)よりも、「先輩の一日」のほうが支持されたことは興味深い。その企業で**どんな仕事を手掛けるのか、それによりどんな生活を送るのか、ライフスタイルを明確に描きたい現代の就活生の傾向がうかがえる。**

Q. 就職活動を行う中で、企業に発信してほしい情報／企業から入手したい情報は何か。もっとも欲しい情報を下記から3つまで選択肢してください。(3つまで)



～ SNSの就活利用で困っていること第1位「不用意発言」～

就活でSNSを利用する中で困っていることの1位には、「**不用意な発言をしてしまうのが不安だ**」(16.2%)が挙げられた。昨今、Twitterなどでの学生の不用意発言が問題となるケースが多発しているためか、自分のSNS上の発言に対する危機意識が芽生えているようだ。

次いで「**就職活動のための有効な活用方法がわからない**」(14.1%)が挙げられており、ソー活元年が謳われているためSNSを始めてみたものの、その**有効な活用方法は模索段階の学生が存在している**ことがわかる。

また、女子学生では、「過去の発言を就職活動先に見られて困る」(12.8%)、「就職活動目的で作った訳ではなかったのに、就職活動で利用したためにプライベート情報などを気軽に書き込めなくなった」(11.5%)が高いのが特徴的であった。

Q. あなたは就職活動でSNSを利用する中で、どのようなことに困っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

